

I 講話「研究のまとめ方について」 校長先生から

<メモ>

II 中間報告会(8/22(火))について

○ 中間報告の作成について

- ・様式について…次ページの様式で作成してください。LANDISK共有 → H29ALL → 「16主題研究」のフォルダの中にデータがあります。
- ・作成期限について…8/21(月)までに、職員室前の封筒までご提出ください。

平成29年度 美郷北学園主題研究「一人一研究」 中間報告

氏名（ 記入例 ）

1 研究テーマ

主題「思考を要する問題に挑み、解決する児童の育成」  
副題「算数科の授業における実践をとおして」

2 研究内容

- (1) 「ちょっと難しそうだけど、考えたい、やってみたい。」等の思いをもたせる問題提示の工夫
- (2) 思考を要する問題（B問題）を解決する力を伸ばす手立ての工夫

・主題や副題、研究内容については、以前作成した「研究の構想」から変更があっても構いません。

3 実践報告

研究内容（1）について

実際に実践した手立て、これから実践したい手立て等	→	実際の子どもたちの反応や変容、予想（期待）される子どもたちの反応や変容等
・3年生のわり算の導入において、「クッキーがあります。3人で同じ数ずつ分けます。一人分は何こになりますか。」というように、被除数を隠して問題提示をした。	→	・「クッキーの数が分かればできそう。」等の発言があり、問題に自ら働きかける姿が見られた。また、被除数を隠したことで、「1こずつ3人に配っていく」という等分除の考えに気付かせることができた。
・「Aの三角形の面積を求めましょう。」という学習問題ではなく、「Aの三角形とBの三角形の面積はどちらが大きいでしょう。」というように、比較を伴った問題提示をしていきたい。また、その際には、ペアで予想を自由に発言できる時間を設定する。	→	・「Aでしょ。」「いやいや、Bじゃない?」「だって・・・」「どうやったら分かるのかな。」等の反応を予想している。

・主な手立てについて、できるだけ具体的に記入してください。研究グループでの意見交換（2回目の主題研）を参考にされるとよいかと思います。

研究内容（2）について

実際に実践した手立て、これから実践したい手立てなど	→	実際の子どもたちの反応や変容、予想（期待）される子どもたちの反応や変容など
・筋道立てて考え、説明するというを大切にしてきた。特に説明に関しては、「今聞いた説明をペアでしあいましょう。」というように全員がアウトプットする場を設けてきた。	→	・説明することが苦手な子どもも、ペアの相手に助けられながら説明することができていた。筋道立てて説明することの下地はできつつあるように感じる。今後は、それを個々の自力解決にどう生かしていくかが課題である。
・題意を把握し、自分の考えを整理して問題解決するためには、図が大変有効である。図をかいて考えている子どもを称賛し、「とにかく図をかいてみる」という意識を高めたい。また、問題にあった図のかき方についても助言したい。	→	・分かっていることを図にかき出すだけで、式が見えてくることもある。思考を要する問題（B問題）については、少なくとも「小問（1）」は全員が正解できるようになることを期待している。

### Ⅲ 学校支援訪問について

- 学校支援訪問日…10月25日（水）
- 指導案の作成スケジュールについて

10月11日（水）までに以下のことをお願いします。

- ① 指導案の作成、起案…10月4日（水）まで
- ② 返却後の加筆・修正と最終版の提出…10月11日（水）まで

その後、10月12日（木）～13日（金）で印刷し、学校支援訪問のしおりとして製本します。  
10月16日（月）には、教育委員会や指導主事宛に送付したいと考えています。

※ 指導案は、1回目の主題研究で提案した様式で作成してください。（確認のため、再度、次ページ以降に記載しています。）

- 北部教育事務所による学習指導案形式例をもとに作成しました。
- ここでは、小学校の学習指導案の形式を示していますが、**太字のゴシック体で示している部分は、本校独自の部分になりますので、必ず設定してください。**
- 用紙形式は、Word・・・余白は「やや狭い」（上下約25mm 左右約19mm）設定
  - ※一太郎では、文書スタイルで上記の余白に設定
  - フォントは明朝体 フォントサイズは10.5pt
  - 行数・文字数は、45字×40行程度で、多少の相違は可とします。

□□第○学年○組□○○科学習指導案

平成29年10月25日

指導者□□□○○○○○

1 単元（題材）

2 目標

- ……しようとする。（関心・意欲・態度）
- ……できる。（思考・判断・表現）
- ……できる。（技能）
- ……できる。（知識・理解）

年間指導計画に示されている単元（題材）の目標を確認した上で、児童生徒の実態に合わせた単元目標（題材目標）を設定し、明確に記述する。語尾は統一する。

3 指導観

○ 教材（題材）観

※ 学習指導要領との関連、教材（題材）の教育的意義や主なねらい、本質的なとらえかた、系統の位置づけ等を明確に記述する。

○ 児童生徒観

※ 単元に関する「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」等について、児童生徒の特性や傾向等を記述する。（「本学級は男子○名、女子○名～」や、「児童生徒は明るく、元気で～」などは不要）

※ これまでの主体的な学習のための指導の経緯や現状についても必要に応じて記述するようにする。十分育っていない面からだけでなく、長所やよさ等についても明らかにする。

○ 指導観

※ 教材（題材）観、児童生徒観をもとに、「○○の手立て（○○の活動）をとおして目標に迫る」という授業者のねらいや意図を明確に記述する。

※ 児童生徒観で述べた課題との整合性を図る。課題としてあげているものについては、その解決に迫るような手立てを記述する。

※ 最後の段落に『このような学習をとおして、本校の教育目標である「・・・」に迫りたい。』を挿入する。

#### 4 指導計画（全○時間）

主な学習内容及び学習活動	時 間	評価規準(○○)と方法【○○】
1 . . . . . をする。 ○ . . . . . をする。 ○ . . . . . を行う。	3 時間 (1) (2) (本時 1/2)	○ . . . . . しようとする。 (関・意・態) 【発表・ノート】
2 . . . . . について学習する。 ○ . . . . . をする。 ・ 10倍すると小数点は右に動く。	7 時間 (1)	○ . . . . . することができる。 (技) 【ワークシート】

※ 学習活動だけでなく、学習内容も記述するように気を付ける。

#### 5 本時の目標

- . . . . . することができる。(数学的な考え方)
- ※ 児童生徒の立場で表記し、観点を明示する。
- ※ 「4指導計画」との整合性に気を付ける。

#### 6 本時の主張

- . . . . . することで、. . . . . できるようにする。

・自分の研究内容に関して、本時の授業の目玉となる手立てと、その手立てでめざす子どもの姿を記述する。「(教師が) . . . . . することで、(学園生が) . . . . . できるようにする。」という形で書く。

(例)「きゅうりは夏によく育ち、冬には育てることが難しい野菜だ」という考えを揺るがす事象提示を行い、「寒い時期にきゅうりをどうやってつくっているのかな。」という自分の問題をもつことができるようにする。(研究内容：子どもに問いをもたせる導入の工夫 等)

(例)「定価の30%引きの代金は図のどこですか？」と発問することで、図を根拠としながら「100%から30%引いた、定価の70%の部分。」という説明を引き出し、「○%引き」の意味を実感を伴って理解できるようにする。(研究内容：式と図を関連させた話合いを生み出す発問の工夫 等)

7 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価 【評価方法】	資料・準備
導入 5分	1 ……つかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">めあて・目標</div> 2 ……見通しをもつ。	○ ……配慮する。		
展開 35分	3 ……を調べる。 自分の考えを相手に伝え、よりよい方法話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     ・どんな内容をどのように学習するかを、展開の順に児童の立場で記述する。                      ・学習課題を明記する。                 </div> 4 ……深める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     「7本時の主張」に関わる手立ては、「◎」で記述する。「◎」は、基本的に1つ。                 </div>	○ ……できるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">                     ・児童の学習を支援するという立場から記述する。                      ・指導と評価の関連に配慮する。                      ・特に支援を要する子どもがいたら、その手立てについても記述する。                 </div> ◎ 「結局、B店の代金は図の中のどこですか？」と発問することで、「100%から30%を引いた70%の部分、ここが代金です。」というような図を用いた説明ができるようにする。	○ 定価の30%引きが、定価の70%であることを、図を用いて説明できている。【発言、ノート】	
終末 5分	5 ……まとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">まとめ</div>	○ ……気付かせる。		

※ 段階は全学年「導入→展開→終末」と表示する。小学部の段階としては、『導入「1つかむ→2見通す」→展開「3調べる→4深める」→終末「5まとめる』という問題解決的な学習を意識して設定する。（語尾はそろえなくてよい。学習活動が5つ以上になることも考えられる。）

※ 評価の欄は、いずれかの段階に記述してあればよい。

※ めあて・目標とまとめは、単線の四角囲みにして、導入と終末の段階に記述する。

8 板書計画 ※板書のとおりを書く。

※ その時間の学習目標・まとめを明示する。（ジャスト3） ※ 構造的・計画的で、子どもが理解しやすい板書になるよう工夫する。 ※ 授業の流れとまとめがわかるようにする。 ※ 終了後、授業のふりかえりや家庭学習に活用できる板書を意識する。
---